

☆教科書58ページ・59ページをよく読んで取り組みましょう。

話し言葉と書き言葉には、どのようなちがいがあるか考えよう。

① シェフの人の言葉と、インタビューメモを比べて、気付いたことを書きましょう。



食材にはこだわっていて、野菜も卵も地元産なんです。あ、牛乳もだ。



これは、愛用のフライパン。店を始めたときから、十年間、使っているよ。

<インタビューメモ>

食材は、野菜も卵も牛乳も地元産を使っている。

フライパンは、創業以来10年間、愛用している。

〈気付いたこと〉(例)

- ・メモの方が語順を整えている
- ・店を始めた時から」を「創業以来」に変えている
- ・語尾がちがう など

② 話し言葉と書き言葉の特徴や気をつけることをまとめましょう。

話し言葉	書き言葉
<ul style="list-style-type: none"> ・声の 大きさ (や) 上げ下げ、(間)の取り方などで、自分の気持ちを表す ・(音声)で表す言葉なので すべて(消えてしまう)。 ・言いまちがいを すべし直せる)。 ・実物を示しながら(いつてもう言葉)で表すこともできる。 ・相手に応じて(言葉づかい)を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちは伝えるべし。 ・(文字)で表す言葉なので、消えずに(残る)。 ・手元をはなれてしまうと、たいていは(書き直せない)。 ・誤解をあたえないように、(主語)を明らかにしたり、(誤字)がないようにしたりするなどの注意が必要。 ・だれが読んでも分かるように、(共通語)で書く。 ・内容を(整理)して書き、(見直し)をしてから人に伝える。
<ul style="list-style-type: none"> ・内容を考えながら話すので、「ええと」のような言葉がはさまれたり、(語順)が整わなかったりすることもある。 	

それぞれの特徴を理解して、適切な言葉を使うことが大切じゃな。



③ 友達への手紙やメールなどで、話し言葉をそのまま文字にして伝えることがあります。その時の特徴や気をつけることについて考えて書きましよう。

【特徴】
(しやひんてい)

(例)



- ・言葉を省略して短くできる
- ・親しい漢字が出せる
- ・気軽にやり取りできる
- ・乱暴な言葉になることもある
- ・語尾がちがう
- ・相手が目の前にいないので、反応が分からない

など

【気をつけること】

(例)

- ・言いたいことがうまく伝わらず誤解を生んでしまったりもあるので使う言葉に気をつける。
- ・送る前に、しっかりと読み返す
- ・「こそあど」言葉ではなく、何のことかきちんと示す方がよい

など

④ 家の人に、次のテーマから一つ選んでインタビューし、聞いたことを書き言葉に直してまとめてみましょう。

テーマ

- ① 小学校での一番の思い出
- ② 今まで旅行で行った中で一番気に入ったところ
- ③ 今だから話せる 失敗談 (一つに○をしよう)

【話してくれた人】



※お話ししていただいたら、しっかりと お礼を伝えよう！